

寒川弘報

弘報活動に期待する

第一號
発行所
寒川町弘報発行會
(寒川町図書館)

新しい憲法に於ては、特に地方自治の重要性が強調されてゐることは、町民諸君のすでに御承知の如くであります。その上に沿つて、各種の種々な組織が立てられ、それによつて、市民にも自治活動の機会が与へられ、その活動の場が拓かれてゆくといふことは、自治行政の面から見て、固くの希望と賞讃に値するものと考えなければならず、すなはち、主権の上には、新体制をプラスするものといへるべきであります。

茅ヶ崎市報

創刊号

昭和24年6月27日
発行所 茅ヶ崎市教育委員会
発行部 茅ヶ崎市教育委員会
印刷所 印刷局

茅ヶ崎市報の創刊は、本市の発展と市民の生活向上に資することを目的として、本市教育委員会が主催し、茅ヶ崎市教育委員会が発行するものである。本報は、本市の教育、文化、経済、社会各方面の動向を伝えるとともに、市民の生活向上に資する情報を提供するものである。本報の発行は、市民の生活向上に資することを目的として、本市教育委員会が主催し、茅ヶ崎市教育委員会が発行するものである。

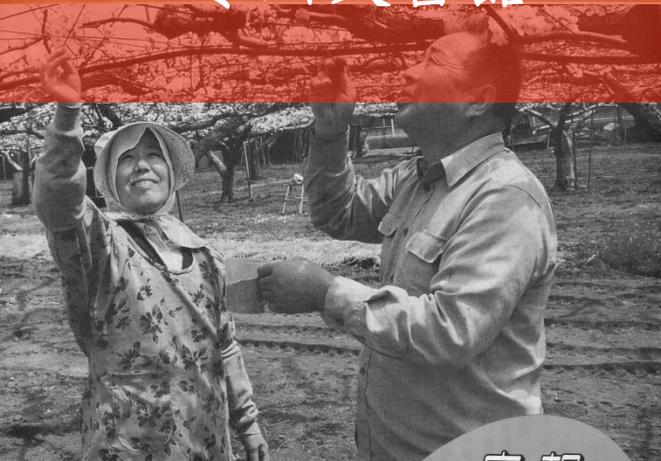
同時開催企画展

広報さむかわの
70年

広報ちがさきにみる
昭和と平成

寒川文書館

茅ヶ崎市文化資料館



湘南ナシの人工授粉

広報
さむかわ
MONTHLY TOWN MAGAZINE

(仮称) 町民大学
5月にスタート!

広報ちがさき

平成2年1月10日発行
編集・発行／茅ヶ崎
〒253 茅ヶ崎市茅ヶ崎
●人口/109,374 ●世帯数/46,111



20万人目の春

2019年6月29(土)→8月31日(土)

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業
主催 茅ヶ崎市教育委員会・寒川町

都道府県や市区町村が定期的に広報紙を発行し、住民へ行政情報や地域の話題を伝えるという現在の仕組みは、戦後全国各地に広まったとされています。
 2019年で『広報さむかわ』は70周年を迎え、『広報ちがさき』も創刊から68年が経ちました。
 2紙のこれまでの記事を振り返ると、昭和から平成にかけての各時代の世相や人々のくらしの変化が見えてきます。
 本展では、世相や人々のくらしの変化を、広報紙の記事を紹介しつつ、振り返ります。

寒川文書館

「広報さむかわの70年」



会期 2019年6月29日(土)-8月31日(土)
 ※休館日：月曜日
 時間 午前9時-午後5時 場所 寒川文書館
 イベント

- (1)展示説明会 7月6日(土)午前10時30分～11時
 ※事前申込不要
- (2)ワークショップ
 「まわし読み広報-おきにいりの記事を探そう-」
 日時 8月17日(土)午後1時30分～4時
 場所 寒川総合図書館会議室 定員 先着15名
 申込 8月1日(木)-15日(木)に文書館に電話・FAX
 電話 0467(75)3691 FAX 0467(75)3758
 住所 〒253-0106 高座郡寒川町宮山135-1



茅ヶ崎市文化資料館

「広報ちがさきにみる昭和と平成」



会期 2019年6月29日(土)-8月31日(土)
 ※休館日：月曜日
 (月曜日が祝日の場合は翌開館日)
 時間 午前9時-午後4時
 場所 茅ヶ崎市文化資料館
 電話 0467(85)1733
 住所 〒253-0055 茅ヶ崎市中海岸2-2-18



講演会「くらしにみる時代の変化」

内容 茅ヶ崎・寒川を中心に、昭和から平成にかけてのくらしの変化を振り返り、時代の移り変わりについてお話いただきます。

日時 2019年8月3日(土) 午前10時～正午

場所 茅ヶ崎市立図書館 2F会議室
 茅ヶ崎市東海岸北1-4-55

定員 50名

講師 加藤厚子さん(学習院女子大学講師・茅ヶ崎市史編集員)

申込 6月18日(火)から茅ヶ崎市文化資料館に電話(先着順)



寒川町文化財学習センターキャラクター つりてくん



茅ヶ崎市特別観光大使 えぼし麻呂

表面について
 【右上】茅ヶ崎報(昭和26年)
 【左上】寒川弘報(昭和24年)
 【右下】広報ちがさき(平成2年)
 【左下】広報さむかわ(平成7年)

● 本事業は、茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業です。
 ○ このチラシは、市町村振興宝くじ「サマージャンボ宝くじ」の収益金が充てられています。